

SIP「ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術」

第一回推進委員会 議事要旨

1. 日 時 平成30年7月12日（木） 16:00～17:00
2. 場 所 中央合同庁舎第4号館 1208会議室（12階）
3. 出席者

<議長／プログラムディレクター>

安西 祐一郎 独立行政法人日本学術振興会 顧問・学術情報分析センター所長

<管理法人>

弓取 修二 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット・AI部長

<関係省庁>

奥田 直彦 内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室 参事官

平本 健二 内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室 政府CIO上席補佐官

須藤 亮 内閣府 プログラム統括

田沼 知行 総務省 国際戦略局 技術政策課 研究推進室長

原 克彦 文部科学省 研究振興局 参事官（情報担当）

武井 佐代里 厚生労働省 老健局高齢者支援課長

（代理出席：田口 課長補佐）

田中 規倫 厚生労働省 老健局総務課認知症施策推進室長

（代理出席：石井 専門官）

松本 真太郎 経済産業省 産業技術環境局 研究開発課 産業技術プロジェクト推進室長

山田 仁 経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課長

（代理出席：佐野 総括補佐）

<事務局>

黒田 亮 内閣府 大臣官房審議官（科学技術・イノベーション担当）

新田 隆夫 内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付 参事官

板倉 輝幸 内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付 企画官

杉山 武志 内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付 上席政策調査員
長沼 武史 内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付 上席政策調査員

4. 議題

- （１） 推進委員会の設置及び運営要領について
- （２） 研究開発計画案について
- （３） 今後のスケジュール
- （４） その他

5. 資料

資料１－１ SIP「ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術」推進委員会の設置について（案）
資料１－２ SIP「ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術」推進委員会運営要領（案）
資料２－１ 「ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術」研究開発計画概要（案）
資料２－２ 「ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術」研究開発計画（案）

6. 議事要旨

議事に先立ち、安西PDより開会の挨拶を行った。

- （１） 推進委員会の設置及び運営要領について

- ・ 資料１－１、資料１－２を事務局から説明し、承認された。

- （２） 研究開発計画案について

- ・ 資料２－１、資料２－２に基づき研究開発計画概要について事務局から説明を行った。
- ・ 安西PDより以下の点を中心に補足説明を行った。
 - 人が直接関わるAI技術には極めて高度な技術が要求される点
 - 分野間データ連携は、語彙の共有など地道な作業が要求される点
 - AI間連携は、実際に現場で役に立つレベルの研究成果が求められている点
- ・ 出席者からの主な発言は以下の通り。

○文部科学省：

- ・ 応用分野の一つとして教育を取り上げているのは文部科学省としても非常にありがたく、

是非力を入れて貢献していきたい。

○経済産業省：

- ・人材育成はポスドクなどをプロジェクトに引き入れるタイミングが非常に重要であり、速度感を持って本S I Pを推進していきたい。
- ・ヒューマン・インタラクションの基盤技術は新しい人間の表現の手段であり、コンテンツ産業の今後の発展を見据え、是非協力していきたい。

○I T総合戦略室：

- ・分野間のデータ連携基盤からA Iの活用まで制度面を含めた一貫通貫のアーキテクチャーの検討に協力していきたい。

○総務省：

- ・インタラクションは人にとって経験しやすく身近に体験できる技術であり、成果の見せ方を良く考えながら本S I Pをサポートしていきたい。

○N E D O：

- ・プロジェクトを具現化するに適した方をいかに適切に公平・公正に選定するかが重要。すぐれた技術開発を行うベンチャーを含め、幅広く、柔軟に公募を実施していく。

（３）今後のスケジュール

- ・事務局より、今後のスケジュールとして研究開発計画の承認予定時期、および公募開始予定時期について説明を行った。

以上